

審議テーマ「子育て家庭と地域をつなぐ人と場づくり」設定に至るまでの検討経過

準備会議、第1回区民会議で出た意見

「子育て支援」

子育て、教育など人を育て心を育む

子育て世代をサポートする交流・イベント等

子ども健全育成

子育て、親への食育活動

中高生が集まれる集合場と指導者がほしい

「新旧住民の交流や多世代交流」

地域住民組織の活動、まちづくり活動などの市民自治の推進

新旧住民の交流

交流コミュニティづくり

福祉の推進、健康の推進など幸せな暮らしを支える

多世代地域交流の場

縁側のようなたまり場づくり

高齢者の問題

食を通しての健康づくり

- 中原区の児童虐待、いじめの問題を無くしたい
- 第3期で行った子育てアンケートの結果をどのように活かしていくのかを検討しては
- こどもに道徳を教えたい
- 民生委員と学校の交流をもっと進めたい
- 中学生などが遊べる場がない

「子育て支援」と「新旧住民の交流や多世代交流」に関連して

- 子ども支援の中で食を通じたコミュニケーションをとりたい
- 子育て世代をサポートする交流の場は、新旧住民や多世代交流の場や情報共有の場にもなる
- 子育て支援を通して、ライフスタイルの変化で今後生じる問題について、お互い解決に向けたヒントを提供できる関係を作ることが大切

第1回運営部会、第3回区民会議で出た意見

■地域の方と子どもが触れ合うことで、子どものシグナルへの気づきや、情操の形成につながるのでは

- ・地域の方と子どもが触れ合うことで子どものシグナルに気づくことができるのでは。商店街へ子どもが買物に行くことで店でのやり取りを通じて子どもの情操が形成されていくのでは。

■中原区の子育て支援は中身がかなり充実している

- ・中原区の子育て支援は中身がかなり充実している。

■世代間の子育て交流の取り組みをしたい

- ・世代間の子育て交流の取り組みをしてみたい。
- ・商店や工場などを活用して世代間の交流が行えるのではないかと。昨年度の市民提案型事業のメタルパッチワーク事業など。

■児童委員の充実に向けてPRを

- ・子育て支援は児童委員が主に担当している。充実に向けてPRもしてもらいたい。

■第3期の「地域における子育て応援体制作りアンケート」の結果を活用すべき

- ・第3期のアンケートの結果を活用すべきである。

■第3期の子育てふれあいカフェの発展継続を考えては

- ・カフェの継続を考える
- ・対象にあわせた内容を考えることが大切
- ・街に出て実践、いろいろな場の可能性を検討しては

第3回運営部会で出た意見

■30分～1時間程度の短い時間、子どもの面倒を地域で見れるようになることが理想。どのようにマッチングをしていくのか。

- ・地域のお母さんが出かけるのは平日の午前中であり、その時間にゆとりがあるのは高齢者である。
- ・両者がどれだけマッチングする機会を持てるのか。子育てサロンだけでは不足している。
- ・一時保育を利用するまでもないような短い時間（30分～1時間程度）子どもの面倒を見てくれるようなことを地域力で解決できるのが理想である。

■退職後まもない人の方が、子どもの相手ができるのではないか。

- ・高齢者と子どもを繋ぐ仕組みがあれば理想。
- ・高齢者の方だと子どもの動きについていけないケースがある。退職後間もない方が担い手としてよいのではないかと。
- ・子育てを終えたばかりの方が支援する側になれば良いが、そのような方は仕事を再開したり、親の介護が始まる方もいる。

■サロンなどに来ない人を巻き込む取組が、区民会議ならではのものになるのでは

- ・子育てサロンの存在を多くの保護者は知っている。しかし、知っていることと実際に足を運ぶことは別問題。
- ・支援している環境へ入ってこれない人をどうにかするという取組が区民会議ならではのものになるのではいか。

■第3期の健診時の子育てふれあいカフェを充実させては

- ・第3期の子育てふれあいカフェは、健診時にイベントを行うことで、普段イベントに足を運ばない人が参加してくれた。
- ・親同士が仲良くなれる場が必要である。
- ・仲介するコーディネーターのような人がいるとよい。
- ・保健所の健診ボランティアのような取組をさらに地域へ広げていければよい。

■場づくりができれば、担い手になる人はたくさん出てくるのではないか。

- ・住宅展示場のママカフェのように、有料でも場があれば人は集まる。
- ・場所があれば、担い手はたくさんいるのではないかと。
- ・こども文化センターや町内会館などが使える仕組みづくりを、上手く区民会議でまとめられればよいのでは。

■その他出されたご意見

- ・必要な情報を必要な人に届くまで発信し続けることが大切である。
- ・子ども預かりOKのシールを家に貼って子育て層にアピール、発信しては。

テーマ：子育て家庭と地域をつなぐ人と場づくり

- 第3期の子育てふれあいカフェをバージョンアップさせて、子育てサロンに足を運ばない人を巻き込んで
- 地域で子どもを見たい人と、見てもらいたい人を結びつける方法を考えることが要点になるのでは